

(第 5 号様式)

横浜市市民活動支援センター
自主事業報告書

(あて先) 横浜市長

平成 27 年 3 月 9 日

団体名	特定非営利活動法人アクションポート横浜
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町 25-1 上田ビル 501 号 株式会社地域計画研究所内
代表者 氏 名	昌子住江・斐安・岡部友彦 印

平成 26 年度横浜市市民活動支援センター自主事業について、次のとおり報告します。

提案事業名	みんなで作る！「市民活動百貨」（仮称） ～若者の参加による活動体験データベースの作成とマッチングと協働の仕組みづくり
テーマ	地域の課題解決に市民等が取り組むための支援を行う
提案分野	市民活動に関する人材育成事業 若者の地域活動への参加の促進 多様な主体間のネットワークの構築、促進
事業運営	横浜市市民活動支援センター事業を担う他団体との協力・連携 (横浜市市民活動支援センター事業を担う他団体(自主事業部門・運営事業部門)と相互に協力・連携が果たされたか。)
	・連絡会議への参加: 自主事業運営団体・運営事業運営団体との定期的な会議に毎回参加し、情報交換及び意見交換を行った。 ・イベントや研修会への参加: 運営事業団体が主催するイベントや研修会に参加し、事業の説明を行うなど連携した事業運営ができた。 必要な人材の紹介: 運営事業団体のサポートにより人材を紹介してもらい、効果的な事業運営を図ることができた。
	予算(経費執行が適正であるとともに、経費節減の工夫がされたか。) 概ね予定通り執行できた。 WEB 作成についてはプロボノの協力を得て、予算を抑えながらクオリティの高いページを作成することができた。 参加レポーターは団体ヒアリングやマニュアル作りなど活動の基礎部分の立ち上げを担ってもらうなど、負担が大きかったため参加費をとらなかった。

	<p>事業内容（事業内容は市民活動のニーズを捉えたものか。）</p> <p>1、発信の担い手となる若者レポーターを育成し、NPO の情報を収集 学生や若手社会人向けにレポーター養成講座を実施し、若者がレポーターとなって NPO の情報を収集した。若者側、NPO 側のニーズもヒアリングし、1年間かけてよりよりレポートが作成できるようなマニュアル作りにも力を注いだ。</p> <p>2、体験活動データベースの作成 集めた情報を元に、より多くの人々が活動体験に参加できるよう活動の流れを整理し、データベース（WEB サイト）を作成した。活動に共感を呼び、参加を後押しできるよう参加者目線での情報を掲載し、参加者と NPO のマッチングできるよう工夫をした。</p> <p>3、体験活動データベースによる情報発信 データベースにはレポーターが集めた情報を蓄積し、発信した。1年目はその基盤作りに力を注いできたので、次年度以降よりさらに発信力を高めていきたい。</p>
<p>事業計画</p>	<p>事業計画（実施時期や方法が適切で、計画通りに実施されたか。）</p> <p>1年目はデータベースの作成の基礎づくりに力を注いできた。レポーターの募集からレポート作成のためのマニュアル作りや情報が掲載されるデータベースの掲載項目作りとサイト作成など、目標はほぼ達成できたといえる。</p> <p>◆活動百貨プロジェクト(仮称)の立ち上げ ・5月にプロジェクトを立ち上げ、準備企画会議を計7回実施した。</p> <p>◆レポーターの募集と育成講座の実施(6月～) ・活動レポーター参加者の募集。目標人数20名に対して28名達成。 ・レポーター定例会を1年間で15回実施。初年度なので、NPO へのヒアリング項目から記事作成項目までレポーターで議論しながら内容を考え、「レポーターのための記事作成マニュアル」を完成。 ・レポーター養成講座を3回実施 7月12日（土）14：00-17：00@横浜市市民活動センター 11月16日（日）14：00-17：00@日本丸訓練室 3月14日（土）14：00-17：00@近代文学館 研修会は当初4回を予定していたが、3回の実施となった。理由はレポーターが予定以上に3回で集まったことと、マニュアル作りへ注力したため。</p> <p>◆活動体験の実施・登録をしてくれる NPO、団体の募集(7月～) ・5団体の募集と活動体験が目標だったが、7団体達成。 ・レポーターマニュアル作成と絡め、記事作成当初は NPO にも協力してもらいヒアリングに力を注いだ。一方で受入体制の整っていない NPO も多く、団体概要作成にあたってはヒアリングを行うなど事務局からのサポートが必要であった。</p> <p>◆WEB サイトのオープン ・12月下旬に WEB サイトを仮オープンさせた。デザインや機能をより充実させ、3月にリニューアルオープンした。 ・ターゲット、コンセプト、デザイン、発信機能などについては会議と議論を重ね、非常にクオリティの高い内容になった。</p>

	<p>期待される効果（市民の満足度が高まり、具体的な効果があったか。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者がレポーターとして実際の NPO の現場取材する場を作ることができた。漠然と「何かしたい」と考える若者の中にはなかなか一歩を踏み出せない人も多く、「レポーター」という位置付けで「やってみる」ことで、NPO への関心度を高めることができた。実際にレポートが縁でその後定期的に足を運ぶ学生が生まれた。 ・NPO 側にとってボランティアを受入れる仕組みづくりができてない団体も決して少なくない。ヒアリングを丁寧に行うことや他の団体の事例を伝えるなど、本事業を通じて団体の受入力向上に貢献できた。すぐに成果は生まれませんが、今回のレポート記事が一つのヒントとなり、団体内の意識改善やボランティアが参加しやすい環境づくりへ貢献できていくと考えている。
<p>自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元々団体内にいた若者ボランティア（プロボノ）を中心にレポーターが集まり、学生を中心に主体的な活動ができた。現状は口コミが多いが、仕組みも整ったので今後はより多くのレポーターを巻き込んでいきたい。 ・ボランティアを受け入れたい NPO は多いが、受入れの環境づくりで悩んでいる団体が多いと感じた。中間支援組織としてこうした NPO への相談の切り口となる事業でもあるので、今後も取材をしながら NPO のサポートになるように力を注ぎたい。 ・大変ではあったが NPO の活動や情報を蓄積し、発信する基盤を作ることができたことは自己評価できる。今後は集まった情報をどんどん発信をできるようにしていきたい。

(第6号様式)

事業収支決算書

【収入】

(単位：円)

項目	金額	説明
横浜市市民活動支援センター事業補助金	2,000,000	
団体負担金	227,800	
レポーター講座参加費	0	レポーターの負担が大きかったため、参加費徴収を見送った。
合計	2,227,800	

【支出】

項目	金額	説明(使途、積算根拠等)
人件費(事業責任者)	900,000	15,000円×5人日×12カ月
人件費(事業担当者)	780,000	13,000円×5人日×12カ月
交通費	100,000	1,000円×100回
チラシ印刷費	45,000	一式
WEBサイト作成費	220,000	一式(サーバー代、デザイン費等)
ライター講習講師代	60,000	15,000円×4人分
消耗品費、通信費	72,400	一式
横浜市市民活動支援センター内スペース使用料	50,400	@4,200円×12か月
合計	2,227,800	

*補助金交付の対象である事業の収支決算を記入してください。

事業計画書

提案 事業 名	みんなで作る！「Spice+」（旧 市民活動百貨） ～若者の参加による現場体験データベースの作成とマッチングと協働の仕組みづくり
1 趣 旨・ 目的	<p>◆活動参加の機会が少ない企業人や若者を主な対象とした現場体験を実施して見えた課題点</p> <p>1) 若者の活動も増えてきたが、社会課題に目を向けたアクションは少ない 若者を対象とした活動参加の裾野は広がってきたが、「楽しむ」だけの活動も増えている。若い世代が社会課題に気づき、団体や地域への共感を高める機会が必要である。</p> <p>2) 現場体験をより多く実施し、多くの人が参加できるように、仕組みづくりが必要 現場体験会で人材が定着する、という一定の成果は得られたが、現場体験の数は限られている。より多くの人が参加できるよう実施数を増やす仕組みづくりが必要である。</p> <p>3) NPOの活動の価値や意義の発信、埋もれている魅力ある情報の発掘・発信が必要 NPOの情報は多様なメディアで増えてきたが、活動報告にとどまり、「この活動の意義はどこにあるのか」、「社会課題をどのように解決しているのか」といった活動の価値の発信は少ない。また、共感を得られそうな魅力ある情報が埋もれているケースも多い。NPOの活動がより社会的に共感を得て、人材が定着していくために、NPOの価値を表現できる情報発信が必要である。</p> <p>◆活動体験と活動の価値を広く発信し参加できる仕組み(データベース)が必要</p> <p>以上の課題認識の下、若者がより社会課題を知り、地域への愛着を深められるようにレポーターとして活動に参加する機会を設ける。そのレポートにより、NPOの情報を掲載し、より多くの人が活動体験に参加できる情報発信・マッチングを行うデータベースおよびwebサイトを作成する。活動体験の受入団体間のネットワークを作り、市民活動を支える人材育成も行う。</p>
2 事業 内容	<p>(事業実施地域) 横浜市全域</p> <p>(事業の対象者) ○学生や若手社会人等を中心とした一般市民 ○NPOを中心とした市民団体・地域型企業 ○中間支援機関</p> <p>1、発信の担い手となる若者レポーターを育成し、多世代参加でデータベースを作る 学生や若手社会人向けにレポーター養成講座を実施し、若者がレポーターとなってNPOの情報を収集する。団体情報だけではなく活動の経緯や大事にしている思い、レポーターが現場で体験した際の体験談等も幅広く集める。</p> <p>2、体験活動データベースの作成:現場体験のパッケージ化により広くマッチングを実現 集めた情報を元に、より多くの人が活動体験に参加できるよう、募集～体験終了の流れをパッケージ化したデータベースを作成する。活動に共感を呼び、参加を後押しできるよう参加者目線での情報を掲載し、参加者とNPOのマッチング、多セクターとの協働を推進する。</p> <p>3、体験活動データベースによる情報発信:NPOの現場のリアルな声を伝え、社会的価値を高める データベースにはレポーターが集めた情報に加え、現場体験での体験談、マッチング事例も随時更新、蓄積し、発信していく。当団体と接点のある企業や大学との提携、既存メディアと連動し、活動の必要性や意義を伝え、NPOの社会価値向上に貢献していく。</p> <p>4、受入団体を中心とした団体間ネットワークの提供とノウハウの発信 受入団体に対しては蓄積した受入ノウハウを学び合う場、情報交換の場を定期的に作り、相互支援のネットワークを作っていく。場は公開し、様々な団体が参加できるようにする。</p>

この書類は、横浜市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。

※この頁は、事業提案時に、横浜市市民活動支援センター自主事業実施要綱第1号様式にて継続希望「あり」とされた場合、又は前年度以前から提案を継続している団体のみ記入してください。

<p>3 事業計画 (事業経過)</p>	<p>◆2年目はデータベースの充実を目指して、レポーター・受入団体の数を増やして行く。また、受入団体間の横のつながりも作っていく。</p> <p>○活動レポーター養成講座及び定例会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動レポーター養成講座の参加者の募集及び実施。レポーター登録合計40名を予定。 ・定例会は毎月1回実施し、レポーター間の情報共有をはかる。 <p>○掲載受入団体の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動体験の実施・登録をしてくれるNPO、団体の募集を行う。受入団体は合計50団体を予定。 ・受入団体がお互いに情報交換やノウハウの共有ができるように、情報共有の仕組みづくりを行う。 <p>○データベースの発信力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信先として企業や大学、既存メディアと連携し、閲覧数を増やす。 ・データベースチームでも定期的に会議（SNS上）を行い、より効果的な発信について検討していく。 <p>○参加者と団体のマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の参加者を募集し、参加者と団体のマッチングを行う。実施して出て来た参加者の声や団体の感想も収集し、それらの情報もWEBサイトに掲載していく。また、受入団体の事前事後のフォローアップも行い、活動内容のブラッシュアップや、新たな体験コースづくりも支援する。 <p>○現場ツアーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBに掲載されている団体への現場ツアーを開催する。なかなかWEBサイトを見ているだけでは参加に踏み出せない若者向けにイベント的に開催し、WEBサイトの活用方法やNPOの現状を知ってもらう。 <p>○事業継続運営に向けた検討</p> <p>事業を継続していくために収入の確保や支出を抑える工夫点などの検討を行う。</p>
<p>4 横浜市市民活動支援センター事業を担う他の団体との協力・連携</p>	<p>市民活動支援センター事業と一体的な事業運営となるよう、運営団体及び自主事業団体と以下のような連携・協力をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆支援センター事業全体の共通のビジョンや各事業の目的を議論し共有する。 ◆支援センターに社会貢献の相談に来る企業やボランティア未経験の方々に対して、情報や活動の体験の場を提供する。 ◆支援センターの各事業や自主事業団体と、必要に応じて連携することで、事業全体に広がりを持たせることができ、団体間の交流と連携を進める。 ◆この事業で得たノウハウや実績を支援センターや利用団体と共有できるようにする。

※この頁は、事業提案時に、横浜市市民活動支援センター自主事業実施要綱第1号様式にて継続希望「あり」とされた場合、又は前年度以前から提案を継続している団体のみ記入してください。

		具体的な事業内容 (事業結果)	期待される効果	事業の総予算 (決算)額
				横浜市補助金額
<p>5 具体的な事業内容、期待される効果及び予算等 (既に本事業による取組を実施している場合、実施済みの年については事業結果及び決算を記入)</p>	H26 年度	<p>【プロジェクトの基盤整備に注力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動百貨プロジェクトの立ち上げ ・活動レポーター養成講座の実施及び受入団体の募集 (登録28名、団体7団体) ・活動レポーターによる事前体験実施及びWEBサイトのオープン ・一般向けの体験活動の参加者募集と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者がレポーターとして参加し、実際のNPOの現場を取材することで、社会課題に気づき、地域で活動する人材を育成できる。 ・活動体験を通じて、実際に現場で人や地域に触れ合うことで、参加者自身が気づきや学びを得られる。 ・団体間の情報やノウハウの共有の場を設けることで、受入スキルの向上と、より多くの人を巻き込むコーディネート力が向上する。 ・NPOの活動の価値や社会課題、埋もれた地域情報をWEBで発信することで、幅広い層の共感を高め、NPOの社会的価値が向上する。 	2,227,800
				2,000,000
	H27 年度	<p>【データベースの充実と受入団体間の強化に注力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動レポーター養成講座の実施及び受入団体の募集 (登録40名、団体50団体) ・受入団体間の情報共有の仕組み作り ・WEBサイトの運用 ・体験活動の参加者募集と実施 ・発信先として企業や大学の開拓、既存メディアとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい活動体験のマッチングシステムにより、多くの市民がNPOで活動する機会が増える。また、団体の担い手の発掘と育成にも貢献し、団体の活性化につながる。 ・団体間のネットワークの構築により、悩みやノウハウを共有し合う相互支援の仕組みができる。 	2,192,600
				1,900,000
	H28 年度	<p>【データベースの質の向上と事業継続に向けた営業活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動レポーター養成講座及び受入団体の募集 (登録80名、団体100団体) ・受入団体間の情報共有の仕組み作り ・体験活動の参加者募集と実施 ・発信先として企業や大学の開拓、既存メディアとの連携 ・自立運営に向けた営業活動及び組織づくり 		2,433,800
				1,750,000

(第4号様式)

事業収支予算書 (平成27年度)

【収入】

(単位:円)

項目	金額	説明
横浜市市民活動支援センター事業補助金	1,900,000	
団体負担金	172,600	
現場ツアー参加費	10,000	500円×20人
WEB広告収入	100,000	20,000円×5コマ
活動体験参加費	10,000	1000円×10回
合計	2,192,600	

【支出】

項目	金額	説明(使途、積算根拠等)
人件費(事業責任者)	900,000	15,000円×5人日×12カ月
人件費(事業担当者)	780,000	13,000円×5人日×12カ月
交通費	130,000	1,000円×130回
チラシ印刷費	30,000	一式
WEBサイト作成費	125,000	一式(サーバー代、メンテナンス費等)
ライター講習講師代	75,000	15,000円×5人分
現場ツアー謝金	30,000	団体謝金等
消耗品費、通信費 一式	74,600	一式
横浜市市民活動支援センター内スペース使用料	48,000	@4,000円×12か月
合計	2,192,600	

この書類は、横浜市市民活動推進条例第12条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しななければなりません。



<http://spice-plus.yokohama/>

SPICE+
味見からはじめる地域参加

SPICE+は、体験レポート型のNPO総合情報サイトです。

- 🔍 スパイス検索
- 📄 SPICE+ とは
- 📞 お問い合わせ

レポート
子どもと食につながる体験
NPO法人フーズマイルぐりぐら

▶記事一覧へ

子どもと食につながる体験
レポート 15.01.01
Reported by まっきー

先輩ババママと子育てゆる体験
体験ツアー 14.12.01
Reported by うちださん

竹林での伐採体験&竹灯篭まつり
レポート 14.12.01
Reported by くまさん

子どものお仕事サポーター体験
イベント 14.11.01
Reported by えりえり

先輩ババママと子育てゆる体験
体験ツアー 14.12.01
Reported by YMさん

SPICE+ レポーター 募集
お知らせ 15.02.08 [sun]
Reported by 運営事務局



SPICE+

味見からはじめる地域参加

SPICE+は、体験レポート型の
NPO総合情報サイトです。

🔍 スパイス検索

📄 SPICE+とは

🗨️ お問い合わせ

SPICE+とは

日常中の小さなスパイスを多くの人に味わってほしい。

SPICE+はそんな想いから生まれたサイトです。



STEP.1

「何か始めたい!」

「新しいことをしたい!」

でも、どうしていいかわからない。

そんなあなたに…

STEP.2

地域で活躍している **NPO・団体の体験レポートやイベント情報**を紹介! NPO というスパイスを味見してみてください!



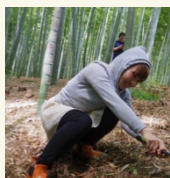
STEP.3

ピンツときたらレッツアクション!

実際に自分も体験してみよう。

その現場に出会い、想いに触れる一歩は
あなたの人生のスパイスにきっとなるはず。

SPICE+の特徴



若者のリアルな体験談で NPO を紹介

SPICE+では、20~30代の学生や社会人がレポーターとなって、NPOの活動を紹介しています。掲載しているレポートの多くが、レポーター自身が活動へと足を運び、初めて体験して書いたものです。作成されたレポートには、活動を通じた団体のリアルな様子と、体感して得た率直な感想がつまっています。

SPICE+の想い



NPO活動を広め、共感者を増やしたい

多くのNPOは、普段の生活で課題と感じたことに対して取り組んでいます。その活動内容はとても幅広く、同じ思いを持つ人が増えることで解決される課題もたくさんあります。社会的意義のある活動を、「SPICE+」を通して多くの人に伝えることで、団体の思いや活動に共感し、協力したいと思う人に巡り合えるきっかけを作りたいと思っています。

SPICE+でアクション!



あなたらしいアクションを!

共感した団体への活動参加の方法は、いろいろあります。レポートと同じスケジュールはもちろん、短時間での参加も可能です。都合がつかずに現場に行く時間はなくても、共感した団体のファンになって、活動を追っていくのも参加の一つです。あなたができる関わり方を探しましょう。



SPICE+

味見からはじめる地域参加

SPICE+は、体験レポート型の
NPO総合情報サイトです。

- 🔍 スパイス検索
- 🔥 SPICE+ とは
- 🗨️ お問い合わせ

記事一覧



子どもと食につながる体験 NPO法人フーズマイルぐりぐら

「ただいま〜！」大きな声とともに、子どもたちが「ぐりぐら」にやってきます。下校直後の子どもたちは、とにかく元気!! 屋内に入るとすぐに遊び始めます。初めてきた...▶[続きを読む](#)

レポート

15.01.01

Reported by
まっきー



先輩ババママと子育てゆる体験 NPO法人 びーのびーの

「びーのびーの」は、多様な人と関われて、訪れた人が心地よい場所でもあります。それはボランティアも一緒です。保育園などは違うので、「こうやって遊ばなくちゃいけない」とい

体験ツアー

14.12.01

Reported by
YMさん



竹林での伐採体験&竹灯籠まつり NPO法人 日本の竹ファンクラブ

活動拠点の1つである横浜国際プール脇の竹林で、竹の伐採活動。切り出した竹は機械を使いチップにして土に還しますが、今回は10/4のイベント「竹灯籠まつり」で利用するため、灯籠

レポート

14.12.01

Reported by
くまさん



子どものお仕事サポーター体験 NPO法人教育支援協会

だがしや楽校は子どもたちが学校では学べない気づきを得られる体験の場。実際に子どもたちがお仕事をしてる場に寄り添って活動を見守るのですが、お仕事に一生懸命打ち込む子、楽し

イベント

14.11.01

Reported by
えりえり





SPICE+

味見からはじめる地域参加

SPICE+は、体験レポート型の
NPO総合情報サイトです。

🔍 スパイス検索

📌 SPICE+ とは

🗨️ お問い合わせ

レポート

子どもと食につながる体験

NPO法人フーズマイルぐりぐら

まっきー



今回のレポーター

「食」についての知識
が深まる！

うっちー



子どもの主体性を育て
る関わり方を体感でき
る！

えりえり



家庭のような雰囲気
の中で活動できる！

「NPO法人フーズマイルぐりぐら」さんのスパイスを体験しに行ってきました！

「ただいま〜！」

大きな声とともに、子どもたちが「ぐりぐら」にやってきます。

下校直後の子どもたちは、とにかく元気!! 屋内に入るとすぐに遊び始めます。

初めてきたレポーターも子どもたちには大人気で、いつのまにか話をしたり遊んだり、一緒に宿題をしたりして関わるので、子ども達とはすぐに仲良くなれます。

